

2011年12月
Mon 19日
月曜日

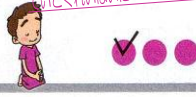
わたしの たましいよ、 かみさまを みあげてみよう

使徒2:42 | そして、彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていた。(42) 核心訓練メッセージ / 2011. 8. 20

朝に起きれば、顔を洗って歯みがきをしながら学校に行く準備をします。学校に行ったら家に帰ってきたら、宿題をして習い事に行ったりもします。こういう行動は続けてしてきたことでしょうか。ところで、こういうものではなく、続けてしなければならない重要なことがあります。聖書に「絶えず祈りなさい」「祈りに専念しなさい」と言われたように、「祈り」は続けてしなければならない重要なことなのです。

私のたましいが集中して神様を見上げるのが祈りです。一人で祈るときは、身分と権威を味わう祈りをして、現場にいるときは、講壇のみことばをにぎってインマヌエルの祝福を味わいながら神の国が臨むように祈ってみましょう。いっしょに集まって、一致協力祈りをするときは、福音にあつて世界が福音で生かされるように祈ってみましょう。初代教会はいのちをかけて集まって祈ることに専念しました。そのような中で、三千人の弟子が起きて、十五ヶ国の宣教の門も開かれました。レムナントが集まって教会のために、世界福音化のために初代教会の人のように幸せな祈りの時間を味わってみましょう。

3 Today ★ きょうのみことば ★ でんとう 伝言 ★ きょうのミッション
II サムエル 4
* 10:25 11:25 12:25 13:25 14:25



キムナムハボ化せんせいと いっしょに

もやもや

なやみを はなそう!

いのって、勉強しても、集中できません。どうしてですか？
クアク・ウンヨン
センミョンセン教会

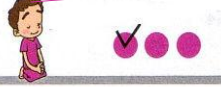
神様が大きな計画を持ってよばれたレムナントなので、かならず覚えておくべきことがあります。勉強に集中ができないと悩むより、サタンが小さくなっていることを通して、レムナントの心と考えを無気力にさせているという事を考えなければなりません。しかし、集中できないことのゆえにあせってははいけません。問題にはかならず答えがあるのです。霊的状态の回復のために、みことばを黙想して、力を受けて、幸せな祈りの中に入って行くよゆうを持ってみましょう。集中できないようにする障害物をとびこえるために挑戦しましょう。今、レムナントの生活と規律を点検してみなければなりません。崩れた勉強の基礎をしっかりとてて勉強する方法と正しい習慣を持って成功する体質にしてみましょう。神様が喜ばれる成功者として頂上にしっかりと立つことができるでしょう。

私に答えてくださる神様に感謝します。祈りの中で神様の力があらわれて、いつも伝道の門が開かれるはじまりの白になるようにイエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン

2011年12月
Tue 20日
火曜日

イエスさまは わるい しゅうかんの いやし せんもんか

ていこくれいはいに せいこうしたらチェックしよう



民5:1~4 「イスラエル人に命じて、ツアラアトの者、漏出を病む者、死体によって身を汚している者をすべて宿営から追い出せ。男でも女でも追い出し、彼らを宿営の外に追い出して、わたしがその中に住む宿営を汚さないようにしなければならない。」(2~3) イフマヌエル教会 聖日 1部 / 2011. 8. 21

羊飼いの少年の話を知っていますか。はじめはいたずらではじめた「うそ」だったのに、あとに本当に問題が起きたときは、だれの助けも受けることができないという話です。小さい悪い習慣は、なんでもないように見えるのですが、のちにはそれが大きい問題を起す結果を産みます。いいかげんさ、うそ、なまけ、ゲーム中毒、ぬすみぐせのようなよくない習慣で悩んでいる子はいますか。問題が見つかるかと思って恐れたり、習慣を抜け出そうと挑戦してみるのですが、そんなにやさしいことはないのでしょうか。イエス様は、こういう問題を解決する専門家です。ですから、よくない習慣で心配せずに、イエス様に助け求める祈りをしてみましょう。そして、イエス様がすべての罪とのろいを解決して悪魔のしわざを打ちこわして、神様に会う道を開いてくださったことを心に信じましょう。そのあと、レムナントの心に生まれる正しい心と考えに従って実践してみましょう。イエス様の力でみなさんの問題が引続き解決される答えを受けるようになるでしょう。

3 Today ★ きょうのみことば ★ てんどう せいしんしゅう ★ きょうのミッション
II サムエル 5

★ 11:15 (11:15) 11:15 (11:15) 11:15 (11:15)

わたしの わるい しゅうかんを かいて どのように いのるのかを きめて みませんか？



わたし わるい しゅうかん
私の悪い習慣

例) 野菜を食べない



いの ぶん
祈り文

かみさま せかいふくいんか
神様、世界福音化のために
いろいろな食べ物を食べて
強くなりますように。



じっせん
実践すること

いちにち やさい
一日、野菜ひとつずつ
食べてみて、どんな味
かを日記に書く。



キリストであるイエス様、よくない習慣をなおしてください。イエス様がくださる正しい心と慰いでいっぱいになりますように。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン

2011年 12月
Wed 21日
水曜日

てきを しり おのれをしらば ひやくせん あやうからず



コロサイ 1:9~23 神は、私たちが暗やみの圧制から救い出して、愛する御子のご支配の中に移してくださいました。この御子のうちにあつて、私たちは、贖い、すなわち罪の赦しを得ています。(13~14) インマエル教会 聖日2部 / 2011. 8. 21

「敵を知り、己を知れば、百戦危うからず」(孫子の兵法より)のことわざを知っていますか。相手を知って、自分を分かれば、百回戦っても百回すべて勝つという意味です。もしかして、友だちをけんかをしているレムナントはいますか。すぐに仲直りしましょう。戦う相手をまちがえています。私たちが戦う相手は悪魔だけということです。それでは、相手に対しまずよく見てみましょう。悪魔は、ただ福音ではないときに機会を利用します。福音でないほかのことをもっと好きなときは「攻撃!」と言って走ってやってきます。心配するときは、ほえたける獅子のように食いつくそうとします。でも、心配する必要はありません。イエス・キリストのお名前の前ではぶるぶる震えながら逃げます。

レムナントのみなさん、敵を正しく知って、自分がだれかということも正確に知っていなければなりません。レムナントは、イエス・キリストによって暗やみの権威から神の国に移された者です。神様の御手に安全にかまえられている神様の子どもです。サタンはただ私たちがだますだけです。罪とサタン、地獄の権威を滅ぼしたキリストによって武装しましょう。

3 Today ★きょうのみことば ★でんどう たんいようしゅ まよりのミッション
IIサムエル6.

★ USCS 11月号 祈り会のお知らせ

てき しり おのれ し ひやくせんあや
敵を知り、己を知れば、百戦危うからず



私にあるサタンの通路はなんでしょう?福音よりもっと好きな三つのことを書いて、祈りの課題を書いてみましょう。思いがちょっと変わるでしょう。

〈サタンの つうろ〉

〈いのりの かだい〉

-
-
-
-
-
-



私を暗やみの権威から解放してくださった神様に感謝します。キリストで武装して、サタンの攻撃に絶対にだまされないレムナントにしてください。イエスさまのお名前によっておいのりします。アーメン

2011年12月
Thu 22日
木曜日

かっとうは むしろ...



使徒1:14 | この人たちは、婦人たちやイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた。伝道弟子訓練メッセージ / 2011.8.22

「パパとママは、私より弟のほうがもっと好きみたい」「私はなぜ、こんな性格なのだろう。気に入らない。他の友だちのように明るい性格だったら良いのに」「伝道神学院に行きたくないな。どうしよう」

こういう葛藤をするようになったときは、正しい判断と決定を下せる基準が必要です。どんな基準を持つかにしたがって、もっと大きい葛藤に陥ることもあり、かえってその葛藤で大きい答えを体験することもできます。

レムナントは葛藤を通して一段階さらに前進できる変化の更新をしなければなりません。そのために「神様のみことば」を基準にして、葛藤を正しく理解して、福音的な決定を下さなければなりません。それで「子どもの祈りの手帳」を黙想するとき、いいかげんに読むのではなく、みことばをもう一度深く考えながら読んで祈ってみましょう。また、日曜の礼拝のときに受けたみことばを、確かめ合って、みことばの中で神様の御声を聞きましょう。簡単で平安に解答を発見するようになるでしょう。

3 Today ★ きょうのみことば ★ でんどう たんぱうしゅう ★ きょうのミッション
II サムエル 7
* VERSES 11:12-13:10 (11:12-13:10)

さんびもくそう2

わたしの ところをかえて

♩ = 130

かなしみ みたみ よろこび かえてふへいとふまん かんしゃにかえて
おそれとな やみ チャンスにかえてわづらい しんぱい いのりにかえて
あたらしいのち くださーつ た 主のおおきなこたえ だけ みあげ
かみのけいかくの なか だ から けいやくだけ みあげて

少しだけ方向を変えれば、少しだけ考えを変えれば私たちに問題になることはありません。私の前にやってくるいろいろなことすべてを世の中の目ではなく、福音の目で見て、私の方法ではなく、神様の方法で解いて出て行けば、私たちの考えを越えるもっと大きな祝福を味わうことができるでしょう。
文・子ども賛美担当 チェ・スジン 講師



神様、私の生活で気に入らないことがあるとき、神様のみことばをにぎって、正しく判断と決定をすることができるように助けてください。イエス・キリストのお名前によっておいのります。アーメン

2011年12月
Fri 23日
金曜日

わたしは かくされた もの



ゼバニヤ 2:7 | 海辺はユダの家の残りの者の所有となる。彼らは海辺で羊を飼い、日が暮れると、アシュケロンの家々で横になる。彼らの神、主が、彼らを訪れ、彼らの捕われ人を帰すからだ。レムナントイメッセージ / 2011. 8. 27

アメリカの最初の宣教師であり、ミャンマーの宣教の先駆者だったアドニラム・ジャドソンは、1788年、牧師の家で生まれました。彼は大学で会った無神論者の友だちの影響を受けて福音を忘れてしまい、さまよう歳月を送りました。そのようなある日、旅行に行き田舎の旅館に泊まるようになりました。ところで、隣の部屋でひとりの男の人が死んでいく声が聞こえたのです。翌朝、ジャドソンは、旅館の主人を通して前日の夜に死んだ人がだれなのかを知るようになりました。無神論者であり、ジャドソンの信仰をすっかり奪い取ったその友だちでした。それ以後、ジャドソンはキリストを信じる信仰を持つようになって、残った人生を伝道者として生きることにしたということです。ミャンマー福音化のために、神様はジャドソンを隠しておかれて、時になって用いられました。この世は日が進むにつれ無神論を主張して、イエス・キリストの唯一性を拒否して、悪霊を受け入れる祈りの行為が流行していています。こういう世の中を救うために、神様はレムナントをジャドソンのように隠しておかれて、すばらしく用いられるでしょう。

3 Today ★ きょうのみことば ★ てんどう たんいしゅう ★ きょうのミッソソ
II サムエル 8
★ 1525. 11. 14. 加藤嘉吉の日記をよむ

アドニラム・ジャドソン (Adoniram Jusdon) ミャンマー宣教師はどんな業績を残したのでしょうか？

宣教師がしたことを考えて、私を神様がなぜよばれたのか、しづかに黙想してみましょう

アドニラム・ジャドソンのぎょうせき



1 ジャドソンはミャンマー宣教師として献身して、世界でいちばんむずかしいミャンマー語を征服しました。

彼は一生の間、7千人をこえるミャンマーの人を主に導きました。そして、たったひとりもクリスチャンがいなかったミャンマー地域に、いまは150万人をこえる信徒がいるところに変えました。

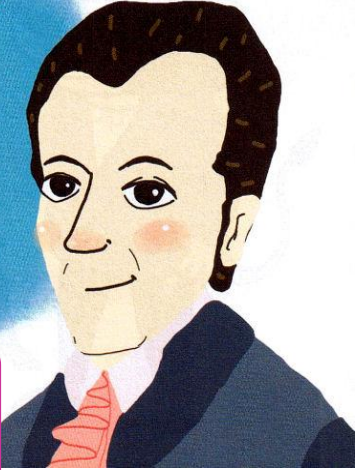
2 ミャンマー辞書を作って、新約聖書と旧約聖書全体をミャンマー語で翻訳しました



わたしをよばれたりゆう



たとえ、いまはみことばが聞こえなくても、ジャドソンのように私もかくされて訓練されて、結局、この世の中を生かすことに用いられるレムナントであることを信じます。イエス・キリストのお名前によっておいのります。アーメン



2011年 12月
Sat 24日
土曜日

おはなし もくそう

しゅじんこうは だれ？



ていこくはいはいに、せいこうしたらチエックしよう



ライオンの村に、子どものライオンが生まれました。ライオンたちは、新しく生まれた赤ん坊に、どんなプレゼントをするのか相談しようと集まりました。たてがみが赤いすてきなライオンが話しました。
「プレゼントは赤い服はどうだろう。赤ん坊が着たら、とってもかわいいだろう…」

もじゃもじゃのたてがみのライオンが、まじめな顔をして言いました。

「かわいいのが重要なのか？ 男の子だと言っていただろう。素敵な鉄のチョッキをあげたらどうだろう」
寒がり、全身を動物の革でおおっていたライオンが話しました。

「寒いから、牛革をプレゼントにしたらどうだろう。革が残ったら、私もちょっと使って…」

プレゼントを決めるのは難しかったです。結局、各自が自分でプレゼントをすることにしました。赤いたてがみのライオンは、きれいな服を作るために、とてもきれいな布を探して回りました。もじゃもじゃのたてがみのライオンは



いちばん強い鉄を探して歩き回りました。寒がりのライオンは、牛をつかまえに行きました。

三匹のライオンは、三年間、プレゼントを作って、一ヶ所に集まりました。赤いたてがみのライオンは、いちばん美しい

布地の服を着ていて、もじゃもじゃ

たてがみのライオンは、すてきな鉄の

チョッキを作っていました。寒がりのライオンは、あたたかい子牛の牛革を着ていました。

三匹は各自、自分が三年間で作った服を自慢しながら村を歩き回りました。そうするうちに、ある若いライオンを見ました。

三匹のライオンが一度も見ただことないライオンでした。赤いたてがみのライオンが尋ねました。

「おまえはだれなんだ？」

若いライオンは、自分は三年前に生まれたライオンだと自己紹介しました。

そのとき、三匹のライオンは分かったのです。自分たちがプレゼントを準備する理由は、三年前に生まれた赤ん坊のライオンをお祝いするためだったことを。

クリスマスはキリストであるイエス様の誕生を祝う日です。祝うことにだけ心がいっぱいいて、イエス様が主人公だと忘れていませんか。クリスマスの主人公に栄光をさげましょう。



★きょうのみことは *でんどう ていしよしゆ きょうのミッション

IIサムエル

1500 1100 0000 0000 0000